

堺 アルフONS・ミュシャ館 企画展「ミュシャのある暮らし」を開催します

堺 アルフONS・ミュシャ館では、企画展「ミュシャのある暮らし」を以下のとおり開催します。

本展では、人にとって最も身近な空間である家に注目し、19世紀から20世紀初頭の家庭の中で、人々の日常を特別な時間へと彩ってきたミュシャ作品をご紹介します。今回は、初めて暮らしとミュシャのつながりに焦点を当て、暮らしの中に息づいたミュシャの美の世界をお楽しみいただける展覧会です。

1 企画展概要

展覧会名	企画展「ミュシャのある暮らし」
日時	令和8年4月4日（土）～7月26日（日） 午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時30分まで）
休館日	月曜日、休日の翌平日（7月21日（火）） ※詳細は、別紙をご確認ください。
場所	堺 アルフONS・ミュシャ館（堺市立文化館） （堺市堺区田出井町 1-2-200 ヘルマージュ堺式番館） JR 阪和線「堺市」駅より西へ約 250m
観覧料	一般 510 円（410 円）、高校・大学生 310 円（250 円）、小・中学生 100 円（80 円） ※（ ）は 20 人以上 100 人未満の団体料金

※見どころや展示構成、関連イベント等の詳細は、別紙をご確認ください。

2 アルフONS・ミュシャ

- ・19世紀末のパリで一躍人気のポスター作家として才能を開花させたアルフONS・ミュシャ（1860-1939）は、芸術様式アール・ヌーヴォーを代表する画家として広く知られています。
- ・ミュシャのポスター作家としての成功は、稀代の女優サラ・ベルナール（1844-1923）との出会いにより、彼の名がパリ中に広まったことがきっかけです。
- ・1900年のパリ万国博覧会への出展を経て、後年には祖国チェコへの芸術的貢献を願い、大連作《スラヴ叙事詩》をはじめ、チェコの独立と平和を願った油彩画等を制作しました。



アルフONS・ミュシャ《ランスの香水「ロド」》
1896年リトグラフ、紙
堺 アルフONS・ミュシャ館（堺市）蔵

3 堺市とミュシャの関係

- ・堺 アルフォンス・ミュシャ館が所蔵するミュシャとその関連作家の作品約 520 点は株式会社ドイの創業者、土居君雄氏（1926-1990）の収集を基にしたものです。土居氏の没後に遺族によって堺市に寄贈されました。
- ・コレクションは、ミュシャのポスターや油彩画、素描や宝飾品等、世界有数を誇る体系的な作品で構成されています。
- ・堺 アルフォンス・ミュシャ館では、ミュシャの初期から晩年期にまでわたる作品を展示し、様々なテーマでその創作活動を紹介しています。

問 い 合 わ せ 先	（企画展に関すること） 担 当：公益財団法人堺市文化振興財団 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 電 話：072-222-7227 ファックス：072-222-6116
	（本市の文化振興に関すること） 担 当 課：文化観光局 文化国際部 文化課 電 話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174



LIFE

with Mucha

ミュシャのある暮らし

2026年4月4日（土） - 2026年7月26日（日）

日常に、ミュシャをひとさじ。

概要

人にとって最も身近な空間「家」。19世紀から20世紀初頭にかけて、家庭の中で人々の日常を特別な時間へと彩った幾多のミュシャの作品。

今回は、初めて<暮らしとミュシャのつながり>に注目。

暮らしの中に息づいたミュシャの美の世界をお楽しみいただく展覧会を企画しました。

なぜ暮らし？

産業の発展とともに生活の豊かさが広がったパリ。富裕層だけでなく民衆も日々の暮らしの中に美しさを取り入れる喜びを見出してきました。

当時パリの街角を華々しく彩った演劇ポスターの数々。中でも淡く優しい色彩と緻密な線で描かれるミュシャの作品は、該当ポスターを眺めているだけでなく、もっと近くですぐに手の届くところで楽しみたい。「家」のなかにミュシャを飾りたい——。そんな思いを駆り立てました。日常にミュシャをひとさじ。民衆に親しまれる美術を目指したミュシャの理念が華開いたのです。

展覧会名 企画展「ミュシャのある暮らし」

会期 2026年4月4日（土）から2026年7月26日（日）まで

会場 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

開館時間 午前9時30分から午後5時15分（入館は午後4時30分まで）

休館日 月曜日、休日の翌日（7月21日）
*ただし、4月30日、5月4日・5日・6日・7日、7月20日は開館

観覧料 一般510円(410円)、高校・大学生310円(250円)、小・中学生100円(80円)
*()は20人以上100人未満の団体料金

主催 公益財団法人堺市文化振興財団/堺 アルフォンス・ミュシャ館

後援 在堺チェコ共和国名誉領事館

協力 京都工芸繊維大学美術工芸資料館、OGATAコレクション

〔みどころ〕 ①ポスター、装飾パネル、ステンドグラス、ジュエリー、お菓子のパッケージなど様々なジャンルのミュシャ作品が勢ぞろい！
②19世紀末のパリの家庭の雰囲気味わいながらミュシャ作品を楽しめます。
③ミュシャと同時期に活躍した作家の身近な作品にも触れることができます。

〔展示構成〕 **5つのテーマで家庭を彩ったミュシャ作品をお楽しみいただけます。**
1章 「いらっしゃいませ」から「おかえりなさい」へーコマースからインテリアへ
2章 明るい未来は明るいおうちから／3章 普遍のミューズたち／4章 掌に私だけのミュシャ世界／5章 我が家に遥かなる憧れを

〔参加型コーナーイベント〕 **#我が家のミュシャ フォトギャラリー**
SNSで「#我が家のミュシャ」で身近な場所に飾られたミュシャ作品、グッズの写真を投稿してみませんか？
投稿して頂いた写真は現代も身近な場所で愛され続けるミュシャ作品として展示室で展示されます！



※写真はイメージです

〔鑑賞ツール〕 **鑑賞ガイドを配布！**
展示されているミュシャ作品をより楽しめる鑑賞ガイドをご用意。

〔関連イベント〕 **【1】学芸員によるスライドトーク**
展示会の見どころをスライドで解説します。
講師：藤本奈緒（企画担当学芸員）
日時：5月2日（土）、7月4日（土）各日14：00～（開場13：30）
定員：各回50名（申込不要、当日先着順）
対象：どなたでも
参加費：無料*参加には、本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です。



【2】チェコビーズでミュシャの作品をイメージしたネックレスを作ろう
ビーズを選んで、世界にひとつのオリジナルロングネックレスを作ります！
講師：ラティーフ（Latief）
日時：①4月26日（日）②5月9日（土）③7月18日（土）
各日10：30～、14：00～（各回90分程度）
定員：各回30名（申込先着順、受付開始①3月28日（土）
②4月11日（土）③6月20日（土）各回9：30～）
対象：小学生以上（小学3年生未満は要保護者同伴）
参加費：2,000円（材料費、現金のみ）
*参加には、本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です。



※写真はイメージです

【3】ぬいぐるみお泊まり会

大人気イベント、ぬいぐるみお泊まり会をミュシャ館でも実施。1週間ぬいぐるみをお預かりし、ミュシャ館でお泊まり会をします。お返し日にはお泊まりしたぬいぐるみと一緒にギャラリーツアーに参加いただき、お泊まり会を振り返ります。ぬいぐるみを通して、ミュシャ作品をより身近に感じていただけます。

日時：①お預かり4月4日（土）お返し4月12日（日）
②お預かり6月6日（土）お返し6月14日（日）
定員：各回10名 申込先着順、申込者1人につきぬいぐるみ1人
受付開始①3月7日（土）～、②5月6日（水・祝）各日9：30～
対象：どなたでも（小学3年生以下は要保護者同伴）
参加費：500円（アルバム代、現金のみ）
*参加には、観覧券が必要です。※保護者の方も観覧券が必要です。



※写真はイメージです

※イベント申込方法など、詳細については当館HPをご確認ください

ミュージアム
で
大人気！

お問合せ

堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：藤本、川口
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com> HP▶

